

初年次ゼミナール

責任者・コーディネーター		法医学分野 出羽 厚二 教授			
対象学年	1	区分・時間数	講義	0コマ	0.0時間
期間	通期		演習	8コマ	12.0時間
			実習	0コマ	0.0時間

・学習方針（講義概要等）

当ゼミナールは初年次アカデミックリテラシー、2年次医学研究リテラシー、3年次研究室配属と連続する医学研究に関わる教育の導入部に該当する。大学入学時の比較的早い段階で教員とゼミ形式で全人格的な付き合いを行い、大学で学ぶ意義を考え、社会常識を身につける。

・教育成果（アウトカム）

ゼミナールの中で教員や他の医学生と全人的に付き合う事により、医学生としての自覚を持つ。
疑問に思ったことを自ら調べ研究することで、知的好奇心・探求心を涵養する。
教員による研究や発表の指導を受けることにより、科学的・医学的思考を身につける。
自らのゼミナールでの活動を簡潔にまとめ後進の学生に伝えることで、後進育成の基本的姿勢を身につける。
(ディプロマ・ポリシー： 1,2,4,6)

・到達目標（SBOs）

No.	項目
1	良好な対人関係の構築ができる。
2	自分の意見をまとめ、他者に伝えることができる。
3	他者の考えを理解し、建設的なディスカッションができる。
4	研究した内容やゼミナールでの活動を簡潔にまとめ、説明できる。

・講義場所

講義：西1-A講義室、本部棟3階SGL、その他教員の指定する場所

・担当教員一覧

	講座	職	氏名
1	法科学講座法医学分野	教授	出羽 厚二
2	微生物学講座感染症学・免疫学分野	教授	村木 靖
3	救急・災害・総合医学講座災害医学分野	教授	眞瀬 智彦
4	超高磁場MRI診断・病態研究部門	教授	佐々木 真理
5	看護専門基礎講座	講師	一ノ渡 学
6	物理学科	教授	佐藤 英一
7	物理学科	助教	寒河江 康朗
8	物理学科	助教	小田 泰行
9	解剖学講座細胞生物学分野	教授	齋野 朝幸
10	医歯薬総合研究所神経科学研究部門	講師	眞柳 平
11	生理学講座統合生理学分野	准教授	木村 眞吾
12	化学科	講師	東尾 浩典
13	生化学講座分子医化学分野	准教授	久保田 美子
14	人間科学科体育学分野	准教授	小山 薫
15	医歯薬総合研究所腫瘍生物学研究部門	助教	柴崎 晶彦
16	医歯薬総合研究所腫瘍生物学研究部門	教授	前沢 千早
17	医歯薬総合研究所腫瘍生物学研究部門	助教	安平 進士
18	病理学講座機能病態学分野	講師	及川 浩樹
19	微生物学講座感染症学・免疫学分野	准教授	吉野 直人
20	物理学科	講師	小松 真
21	人間科学科心理学・行動科学分野	講師	藤澤 美穂
22	生化学講座分子医化学分野	教授	古山 和道
23	生物学科	助教	阿部 博和
24	生物学科	教授	松政 正俊
25	人間科学科心理学・行動科学分野	教授	相澤 文恵
26	解剖学講座人体発生学分野	助教	三浦 真浩
27	生物学科	講師	三枝 聖
28	情報科学科数学分野	教授	江尻 正一
29	人間科学科法学分野	講師	廣瀬 清英
30	解剖学講座人体発生学分野	教授	人見 次郎
31	薬理学講座情報伝達医学分野	講師	近藤 ゆき子
32	病理学講座機能病態学分野	教授	増田 友之
33	外国語学科英語分野	教授	ジェームズ ホップス

・統一開催日（全8回）

回数	月日	時限	回数	月日	時限
1	6月28日(金)	1	5	11月1日(金)	3
2	7月1日(月)	5	6	11月8日(金)	3
3	7月8日(月)	5	7	11月22日(金)	3
4	10月11日(金)	3	8	11月29日(金)	3

・教科書・参考書等

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
登録済みの教科書はありません。				

・成績評価方法

成績評価は所属するゼミナールの独自性に一任されるが、大枠として受講態度30%・知的好奇心を満たす行動（文献検索・討論等）40%、発表30%を目安とし、総合的に評価する。ゼミナールの活動の全てにおいて、随時教員によりフィードバックを行い、学習を促す。
初年次ゼミナールのガイダンスで、次年度の学生にゼミの活動内容を紹介する場を設ける。その際に適切な紹介を行えるように準備する。

・特記事項・その他

【ゼミ決定と初回ゼミについて】
①2019年5月8日（水）3・4限目 第1・2学年合同学生ガイダンス
教員によるゼミ紹介の後に、前年度ゼミ生（第2学年）による、ゼミ紹介を行います。これを受け、第1学年はゼミの希望調査を提出し、第1学年の代表学生により配属調整を行います。
②2019年6月28日（金）1限目 第1・2学年合同初回ゼミ開催
この日までに配属調整を完了し、初回ゼミについては、第1・2学年合同でゼミを実施します。

【注意事項】
研究室という社会的な場所に入出入りすることになる。
社会人としての礼儀を要求される。(礼儀・時間の厳守など)
医学生らしい髪型・服装をすること。
(君たちは社会から見られており、常に評価されている!!)

ゼミの開催時間・回数は教員の予定によりフレキシブルに運用される。

シラバスに記載されている事前学修内容および各回到達目標の内容について、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。なお、適宜、講義・実習冒頭で事前学修内容の発表時間を設け、授業の中で試験やレポートを課す場合は、次回の授業で解説を行う。授業では、医学教育モデル・コア・カリキュラムの内容に留まらず、必要に応じて最新の医学研究成果を教示する。

・教育資源

各ゼミナールの研究内容によって異なるが、主なものは次のとおり。
教科書・参考書、講義室、実習室、図書館、組織標本、顕微鏡、クリッカー、バーチャルスライド、PC、インターネット環境、コンピューターソフトウェア、シミュレーター

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
演習	ノートパソコン	1	演習